

施工要領書／取扱説明書

添付資料

電熱式蒸気加湿器

WM-SJAタイプ

WM-SJA01CFB・02CFB・03CFB・05CFB・08CFB・11CFB・14CFB

## 室内直接噴霧型(蒸気ブロー分離取付) 蒸気ブロー取付要領書／図面ファイル

- 電熱式蒸気加湿器は、機器組込用(空調機・パッケージエアコン・加湿チャンバ組込用)と室内直接噴霧型(蒸気ブロー付)の2種類があります。
- 本書は室内直接噴霧型に使用する蒸気ブローの取付の説明および図面類をまとめたものです。
- 加湿器本体回りの施工、運転管理、保守点検などの内容については、加湿器本体に添付の施工要領書／取扱説明書を参照してください。

### 施工者の方へ

加湿器の機能を十分に発揮させ、安全にご使用いただくためには、適切な取付工事が必要です。本書および加湿器本体に添付の施工要領書／取扱説明書を必ずお読みください。

本書を含めて製品添付の説明書類は、必ずお客様にお渡しして、保管いただくように依頼してください。

### 加湿器をご使用になるお客様へ

本書は、製品添付の他の説明書類とともにお客様にて必ず保管してください。



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 目 次 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

- 安全上のご注意 ..... P.1
- 1. 仕 様 ..... P.2~3
- 2. 取付にあたって ..... P.4~5
- 3. 蒸気ブロアの取付 ..... P.6~8
- 4. 試運転 ..... P.9
- 外形図／電気回路図／端子台接続要領図

## 安全上のご注意

- 取付および取扱にあたっては、本書をよくお読みのうえ、本書の内容に従って確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」・「⚠ 注意」に区分していますが、誤った取付や取扱をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを、特に「⚠ 警告」の欄にまとめて記載しています。また、「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取付工事完了後は、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。また、本書を含めて製品添付の説明書類は、必ずお客様にお渡しして、保管いただくように依頼してください。



### 運転中および運転停止後2時間以内の加湿器・接続配管には、絶対に触れないでください。

- ◆蒸気式加湿器は、水を加熱して蒸気を発生させるか、蒸気の供給を受けて運転します。運転中および運転停止直後の加湿器・接続配管は高温になりますので、絶対に触れないでください。
- ◆本製品は、専門業者の管理のもとにご使用ください。
- ◆取付は、専門業者に依頼してください。取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- ◆高さが2メートル以上の箇所で行うときは、適正な足場を確保し安全带を使用する等、墜落による作業者の危険を防止するための措置を講じてください。
- ◆取付工事は、製品添付の説明書類に従って確実に行ってください。取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- ◆取付は、重さに十分耐える所に確実に行ってください。強度不足や取付工事に不備があると、落下や転倒などによる事故の原因になります。
- ◆電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」および製品添付の説明書類に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路の容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
- ◆電気配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。
- ◆工事の部材は付属品および指定の部材をご使用ください。寸法や材質等の適合しない部材を使用すると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- ◆水道法、消防法等に規制される部材の取扱については、専門業者に依頼してください。
- ◆改造は絶対にしないでください。部品交換を含め、修理は当社または専門業者にご相談ください。修理に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- ◆保守点検作業は、当社または専門業者にご相談いただくか、設備機器に関する知識および作業経験のある方が行ってください。保守点検作業に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。
- ◆保守点検作業を行うときは、必ず運転を停止して元電源を切ってください。また、運転停止後2時間以上経過して、機器が十分に冷えたことを確認してから作業してください。



- ◆配管工事は、製品添付の説明書類に従って確実に行ってください。給水配管は、結露が生じないよう保温してください。排水配管は、高温の配管が露出しないよう保温してください。配管工事に不備があると、水もれややけど等の事故の原因になります。
- ◆アースを行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
- ◆漏電ブレーカ（電源元スイッチ）を取り付けてください。漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
- ◆正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。不適当な容量のヒューズや針金・銅線等を使用すると、故障や火災の原因になることがあります。

# 1.仕様

機種・型式		電熱式蒸気加湿器 ウェットマスター <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">SJA</span> (比例制御/ON-OFF制御兼用)						
型番 (WM-)	フロア分離取付	SJA01CFB	SJA02CFB	SJA03CFB	SJA05CFB	SJA08CFB	SJA11CFB	SJA14CFB
蒸気発生量 (kg/h) ※1		1.2	2.6	3.6	5.1	8.3	11.4	14.2
蒸気フロア風量 (m <sup>3</sup> /h)		140/115 (50/60Hz)						
運転音 dB (A)		48	48	48	49	51	53	59
定格電源		単相 AC200V 50/60Hz			三相 AC200V 50/60Hz			
定格消費電力 (kW)		2.9 ※2		2.9	8.7 ※2		8.7	10.8
消費電力量 (kWh)		1.0	2.0	2.9	3.9	6.3	8.7	10.8
定格電流値 (A)		14.5 ※2		14.5	25.1 ※2		25.1	31.2
適合漏電 ブレーカ	過電流容量 (A)	20	20	20	40	40	40	40
	感度電流 (mA)	30	30	30	30	30	30	30
制御信号 ※3	比例制御	電流入力 ●4~20mADC (入力インピーダンス 150Ω) 抵抗入力 ●0~135Ω				注、蒸気発生量は制御信号により0~100%の範囲で調整が可能です。		
	ON-OFF 制御	二位置式ヒューミディスタットによるON-OFF信号						
外部信号		運転および異常を無電圧接点信号として取り出し可能						
本体質量 (kg)		27	27	27	40	40	40	40
本体運転時質量 (kg)		32	32	32	52	52	52	52
蒸気フロア質量 (kg)		7						
本体塗装		アイボリー系 (マンセル 5Y7/1)						
電気特性	電圧許容範囲	±10%以内						
	絶縁抵抗	100MΩ以上						
	絶縁耐圧	AC1500V 1分間印加異常なし						
使用条件	本体周囲温湿度	1~40℃ (凍結しないこと) 80%RH以下						
	給水水质	●軟水 ※4 注、水道水 (水道法水质基準に準ずる飲料水) もご使用いただけますが、頻りにメンテナンス作業が必要となります。 ●一次純水 [導電率 0.1~1.0mS/m (1~10μS/cm)]						
	給水圧力、温度	0.05~0.5MPa 5~40℃						
安全保護機能		1) ヒータ過熱防止機能: TH (ヒータ過熱時表示灯点灯/異常出力/運転停止) 2) 空運転防止機能: EP (運転停止) 3) ヒータ温度ヒューズ: TF (運転停止) 4) 電装部過熱防止機能: TP (運転停止) 5) 低水位検知 (1.0hr 以上の低水位で表示灯点灯/異常出力/運転停止) 6) 高水位・泡検知 (強制ブロー)						
諸機能		1) 点検清掃時期表示 2) 加熱タンク水予熱 (70~80℃に予熱します) ※5						
オプション		加湿器本体取付架台						

梱包内容	梱包種類・部品名称(仕様など)	SJA01~03CFB	SJA05CFB	SJA08~14CFB
	1) 本体梱包	1 梱包	1 梱包	1 梱包
	①加湿器本体 ②取扱説明書類 ③給水軟銅管(φ6.35×1.0m) ④給水ストレーナ(T型、100メッシュ、R1/2) ⑤排水ホース(φ40×φ30 0.5m、ホースバンド付)	1台 一式 1本 1ヶ 1本	1台 一式 1本 1ヶ 1本	1台 一式 1本 1ヶ 1本
	2) 蒸気ホース梱包	1 梱包	1 梱包	1 梱包
	⑥蒸気ホース(φ31×φ22 1.5m、ホースバンド付) ⑦蒸気ホース(φ40×φ30 1.5m、ホースバンド付) ⑧蒸気ホース(φ50×φ40 1.5m、ホースバンド付)	1本 — —	— 1本 —	— — 1本
	3) 蒸気フロア梱包	1 梱包	1 梱包	1 梱包
	⑨蒸気フロア(電源コード、取付ビス類付) ⑩凝縮水ホース(φ12×φ8 3m、ホースバンド付) ⑪施工要領書(蒸気フロア用)	1台 1本 1冊	1台 1本 1冊	1台 1本 1冊

- ※1: 記載の蒸気発生量は定格電圧における値であり、電源電圧の変化に伴い増減します。また、定格電圧においてもヒータの特性により、蒸気発生量は±7%の範囲で変動します。
- ※2: 記載値は、制御システムによる瞬時最大値を示します。漏電ブレーカの選定は瞬時最大電流値を考慮し、表中の適合漏電ブレーカ記載容量のものをご用意ください。実際に使用する電力量につきましては、消費電力量(kWh)の値を参照ください。
- ※3: 製品出荷時には電流入力にセットしてあります。抵抗入力または ON-OFF 制御でご使用の場合は、電装部の制御基板上のスライドスイッチで設定が必要です。
- ※4: 製品出荷時には給水水質を軟水にセットしてあります。給水に一次純水をご使用の場合は、電装部の制御基板上のディップスイッチで定時ブロー時間と定時ブロー間隔時間の設定が必要です。  
加湿器用水処理装置に供給する水は水道法水質基準に準ずる飲料水としてください。給水に軟水をご使用の場合、当社製自動再生型軟水器/WM-WSBタイプの採用をご検討ください。
- ※5: 製品出荷時には予熱機能はなしにセットしてあります。予熱機能をご使用の場合は、電装部の制御基板上のスライドスイッチで設定が必要です。

その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本加湿器は圧力容器の適用外となります。</li> <li>2) ヒータ寿命の目安は 10,000 時間ですが、水質、使用状況により 10,000 時間未満におきましても寿命となる場合があります。</li> <li>3) ヒータ寿命時には漏電となる場合があります。他の機器の妨げとならないように、必ず加湿器専用の漏電ブレーカをご用意ください。</li> <li>4) 比例制御時には電流値は短い時間の中で最大電流値と電流ゼロのくり返しとなるため電流計を接続した場合には電流に応じて針が振れる状態となります。したがって、電流値にて加湿器運転状態を把握することはできませんのでご注意ください。また、型番によっては 100%運転時におきましても、制御システムにより電流計の針が振れる場合があります。</li> <li>5) 加湿器からの排水は高温(100℃)になります。配管材は必ず配管用炭素鋼管など耐熱性のものを使用し、露出部は安全のため必ず保温してください。</li> <li>6) 加湿器本体右側面には電装部発生熱の排熱口があります。必ず排熱スペースとして 500mm 以上の空間を確保してください。</li> <li>7) 給水に水道水(水道法水質基準に準ずる飲料水)を給水する場合、公共の水道管から直接接続することはできません。このような場合はシスターン(型式認可品)をご使用ください。</li> <li>8) 給水水質を軟水とする場合の必要給水量は、蒸気発生量の約 1.15 倍となります。</li> <li>9) 給水水質を一次純水とする場合の必要給水量は、蒸気発生量の約 1.05 倍となります。</li> <li>10) 給水に一次純水を給水する場合、電装部の制御基板上のディップスイッチで定時ブロー時間と定時ブロー間隔時間の設定が必要となります。 設定をしないと、湿度制御性とブロー(排水)量が軟水給水時と同等となります。</li> <li>11) 加湿器からの排水の pH 値について、水道水や純水を加熱すると水の中に含まれる遊離炭酸が脱気するため、pH 値は 8~9 に上昇することがあります。また、軟水を加熱すると、炭酸ナトリウムの影響により pH 値は 8~11 に上昇することがあります。加湿器の排水を再利用される場合や複数台のご使用で排水を貯留してから排水する場合など、pH 値が排水規制(排水に関わる基準)を超えることがありますのでご注意ください。</li> <li>12) 空気清浄度を管理されている室内、施設を対象に加湿器をご使用になる場合は、加湿器を組み込んだ空調システムの加湿器二次側に、要求清浄度を満足できる能力を有する最終フィルタを設置してください。</li> </ol>
-----	---

## 2. 取付にあたって

### ご注意

- ◆加湿器本体の取付・給排水配管・電気配線などの施工内容および施工後の試運転につきましては、加湿器本体に添付の「施工要領書／取扱説明書」を参照してください。
- ◆使用開始後の運転管理・保守点検などにつきましても、上記の「施工要領書／取扱説明書」をご参照ください。

- 梱包内容はP.3の仕様表に記載してあります。梱包開封後は直ちに内容を確認してください。
- 蒸気ブローアの取付にあたっては、下の(図1)およびP.5の(図2)の周囲スペースを必ず確保してください。また、P.5の(図3)施工参考図を参照してください。



### 警告

加湿器本体および蒸気ブローアの取付は、重さに十分耐えるところに確実に行ってください。強度不足や取付工事に不備があると、落下や転倒などによる事故の原因になります。特に室内壁面に取り付ける場合は、ご注意ください。

加湿器運転中は常に蒸気ブローアから凝縮水が出ます。凝縮水ホースの先端は大気開放とし、スムーズに流れるように配管してください。万一、排水が阻害されると吹き出し口からの熱水飛散による事故の原因になります。

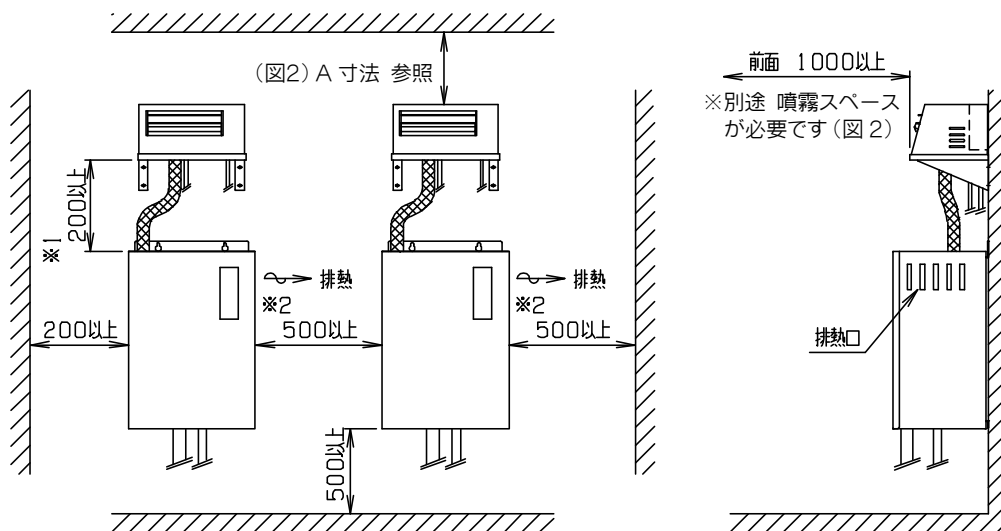


### 注意

蒸気噴霧スペースは必ず確保してください。また、蒸気ブローアの吹出口前方には、湿気を嫌う物品を設置したり置いたりしないでください。障害を与える原因になることがあります。

噴霧直後の蒸気や蒸気出口は高温になります。噴霧蒸気が人にかからない取付位置を選んでください。噴霧蒸気が人にかかるとやけどの原因になります。

(図1) 本体周囲メンテナンススペース



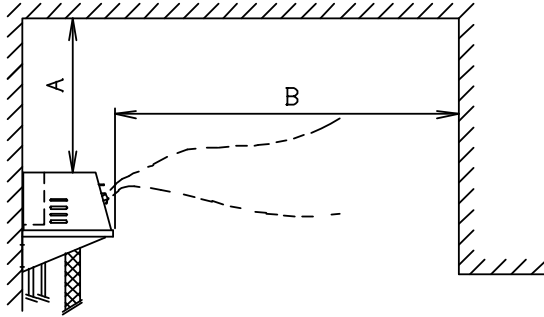
- ◆蒸気ブローアは加湿器本体より上方に取り付け、蒸気ホースはトラップ状にならないように取り付けてください。
- ◆蒸気ブローア前面のスペースは、メンテナンススペースのほかにP.5の(図2)蒸気噴霧スペースも必要です。
- ※1 保守点検作業の際に必要なスペースです。
- ※2 本体右側面には電装部排熱口があります。故障の原因となりますので必ずスペースを確保してください。

(図2) 蒸気噴霧スペース

- ◆ 噴霧蒸気が人にかからない取付位置を選んでください。
- ◆ 取付場所は、空調機など室内の気流に注意し、噴霧された蒸気が室内全体に均一に拡散するように配慮してください。
- ◆ 噴霧方向の至近距離（前方および側面方向）に障害物があると、蒸気が凝縮して水滴となり滴下することがあります。下記の蒸気噴霧スペースを確保してください。

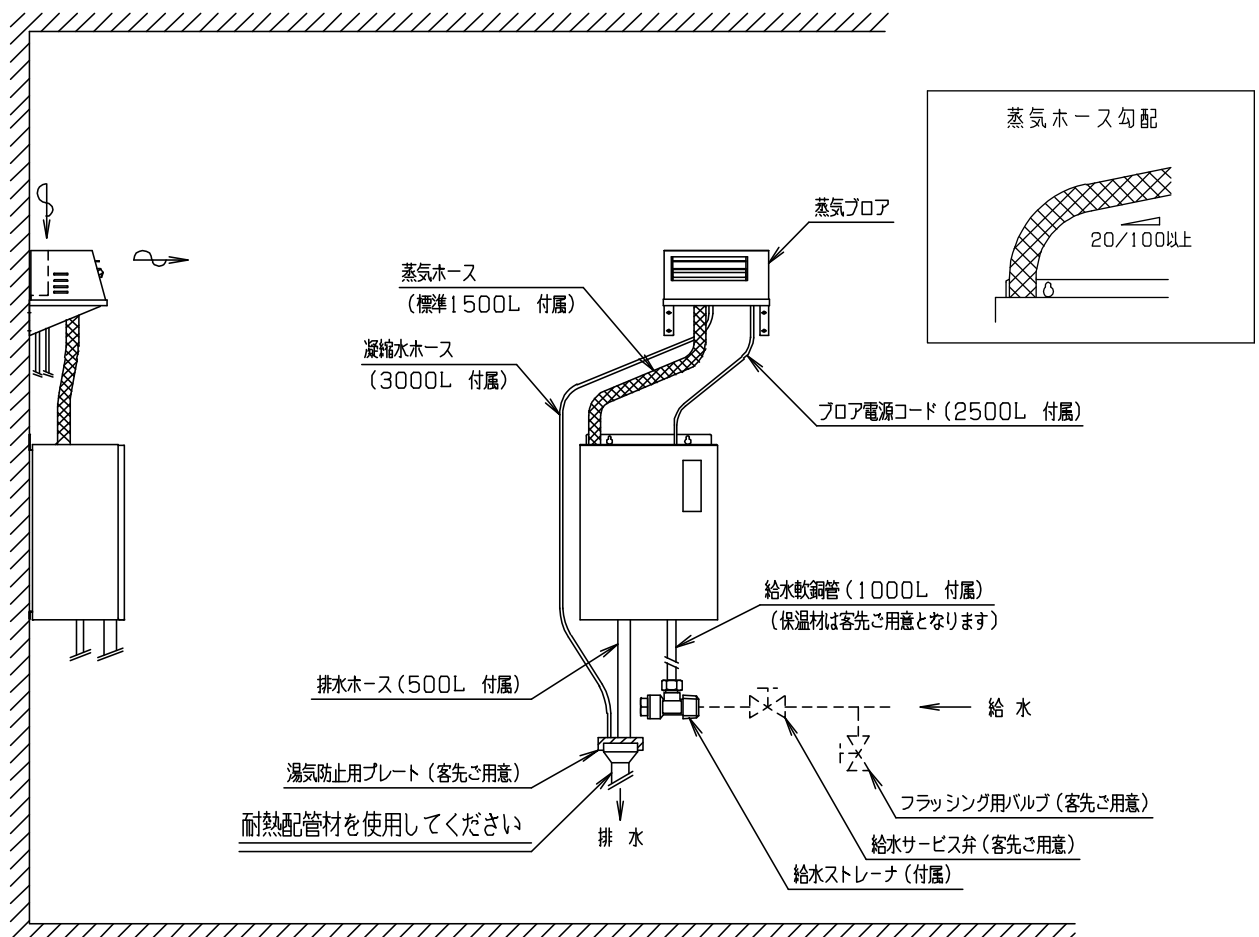
※表の寸法以上のスペースが必要です

周囲温湿度 22℃ 50%



型番	A寸法	B寸法
WM-SJA01CFB	600	2000
WM-SJA02CFB	600	2500
WM-SJA03CFB	600	3000
WM-SJA05CFB	700	4000
WM-SJA08CFB	800	5000
WM-SJA11CFB	1000	5000
WM-SJA14CFB	1500	6000

(図3) 施工参考図



- ◆ 加湿器本体および蒸気フロア取付面の強度に問題がある場合は、補強用アングル・架台などを設けてください。
- ◆ 加湿器本体取付架台は弊社でもご用意できますのでお問い合わせください。

## 3 . 蒸気ブローアの取付

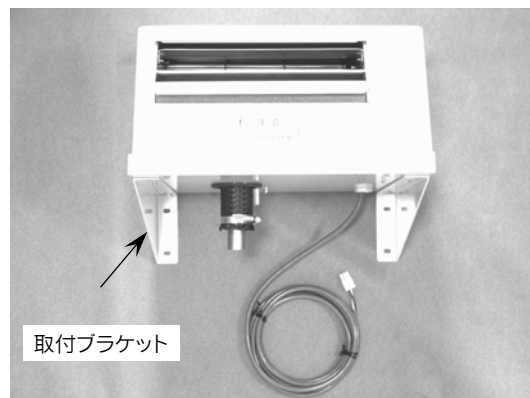
### 3-1 . 蒸気ブローアと加湿器本体の取付位置について

- 加湿器本体と蒸気ブローアの間を接続する蒸気ホースの長さは、標準品で1.5mです。  
加湿器本体に対する蒸気ブローアの取付位置を決めます。蒸気ブローアの取付は、加湿器本体を壁面などに固定した後に行ってください。（加湿器本体に添付の施工要領書／取扱説明書のP.7を参照）

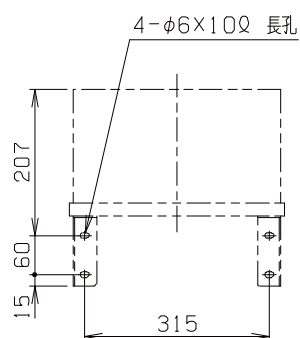
### 3-2 . 蒸気ブローアの取付

- ①取り付ける壁面の強度に注意してください。
- ②蒸気ブローア取付の際に生ずるチリやゴミが加湿器本体内に入らないように配慮してください。
- ③位置決めした壁面などに付属のビス4点で取り付けます。  
付属の樹脂プラグの下孔径はφ8、深さ46～55mmです。  
（図4参照）

写真-1



(図4) 取付孔寸法図



**ご注意)** 蒸気ホースの最小許容曲げ半径は SJA01～03CFB が R450mm、SJA05CFB が R600mm、SJA08～14CFB が R800mm です。

蒸気ホース、凝縮水ホースともに流れの障害となるような変形や折れが生じないように注意してください。また蒸気ホースの曲げ荷重が加熱タンクにかからないように蒸気ホースの長さに注意してください。



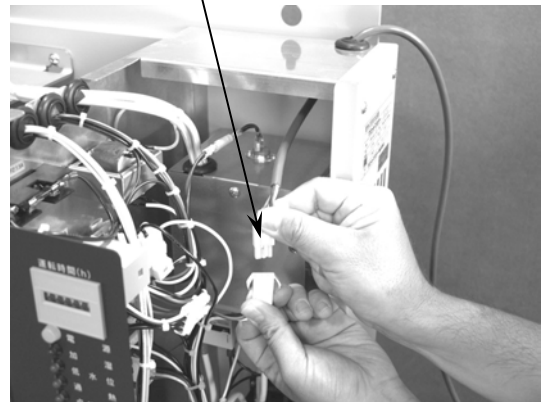
- ④加湿器本体の正面パネルを開けます。  
天板と電装部側板を外します。なお、SJA01～03CFBIは天板と電装部側板は一体です。  
グロメットの膜を切りあけて、ブロー電源コードを通します。  
(写真-2)

写真-2



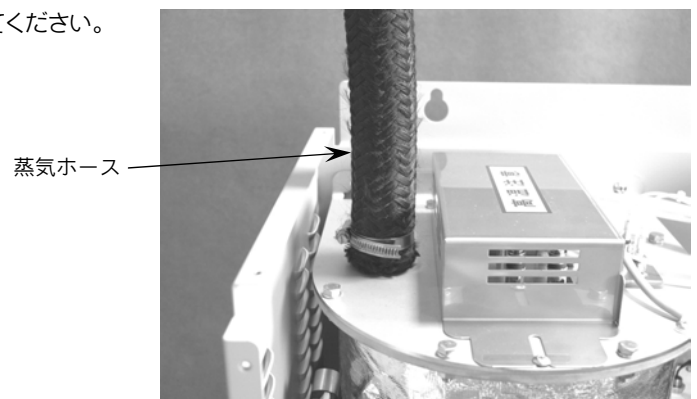
- ⑤加湿器本体内部電装部に差し入れた電源コードのコネクタ(3P)を電源用コネクタに差し込んでください。  
ゆるみや抜けがないように、ツメがしっかりとかむように「カチッ」とするまで差し込み、軽く引っ張ってゆるみのないことを確認してください。(写真-3)

写真-3 コネクタ



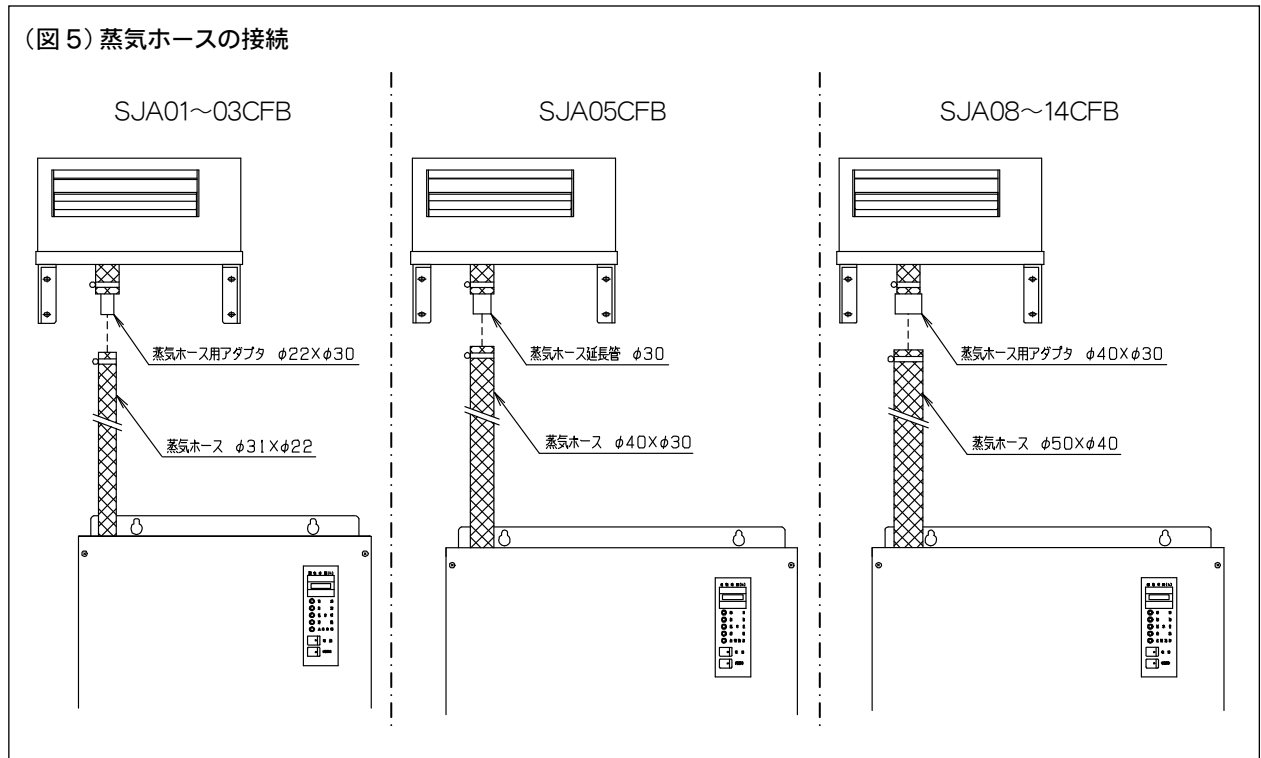
- ⑥加熱タンクに蒸気ホースを接続します。蒸気ホースは、ホースバンドで固定(締め付けトルク 1.5N・m 程度)してください。  
(写真-4)

写真-4



### 3 . 蒸気ブロアの取付

- ⑦加湿器本体からの蒸気ホースをホースバンドで固定（締め付けトルク 1.5N・m 程度）してください。（図5 参照）



- ⑧蒸気ブロアの下部に凝縮水ホースをホースバンドで固定してください。（写真-5）

ホースは充分奥まで差し込み、抜けの無いように固定してください。

- 加湿器運転中は常に凝縮水が出ます。凝縮水ホースの先端は大気開放とし、スムーズに流れるように配管してください。万一、排水が阻害されると吹き出し口からの熱水飛散による事故の原因となります。
- 排水ホッパに放流する場合は、排水の湯気が加湿器本体や他の機器、周囲に支障をきたさないようにご配慮願います。

写真-5



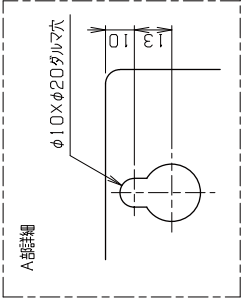
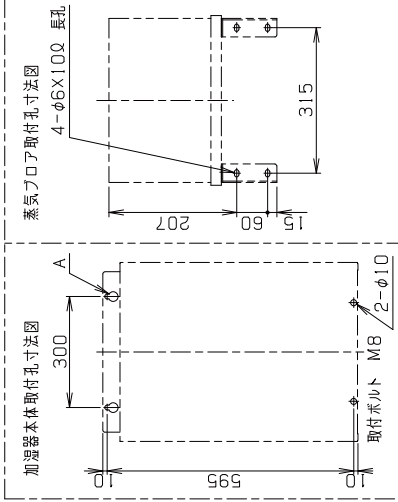
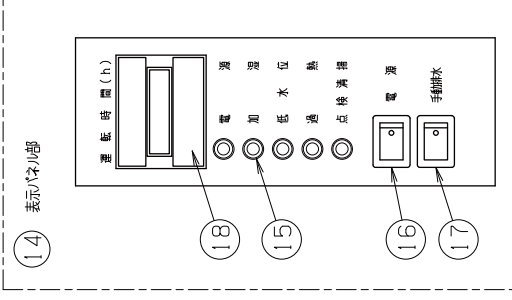
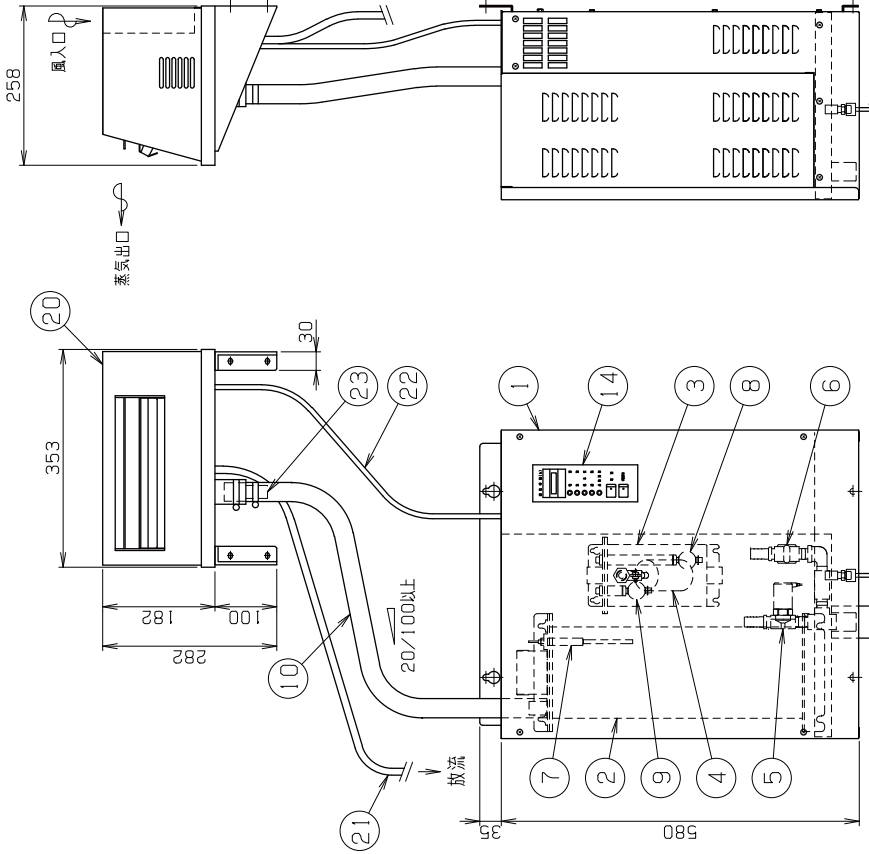
凝縮水ホース

## 4 . 試運転

---

- 試運転は、加湿器本体に添付の施工要領書／取扱説明書のP.14～「2-7. 試運転」の内容にしたがって実施してください。
- また、下記の諸点について必ず確認し、不都合な点があれば必ず修正してください。

- 加湿器本体の運転と連動して蒸気ブローも運転すること。
- 蒸気ブローおよび加湿器本体からの漏水がないこと。
- 蒸気噴霧スペース (P.5 の図 2 参照) が確保されていること。
- 蒸気ブローの吹出口前方に湿気を嫌う物品のないこと。
- ヒータ OFF 時には蒸気ブローが約2分間運転します。これは、残留蒸気を器外へ送り出すための動作です。
- 試運転後、加湿器本体内および周囲に結露や凝縮を生じていないこと。

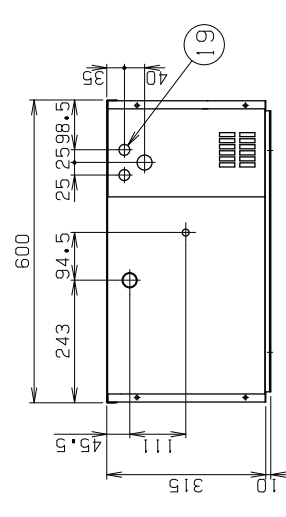
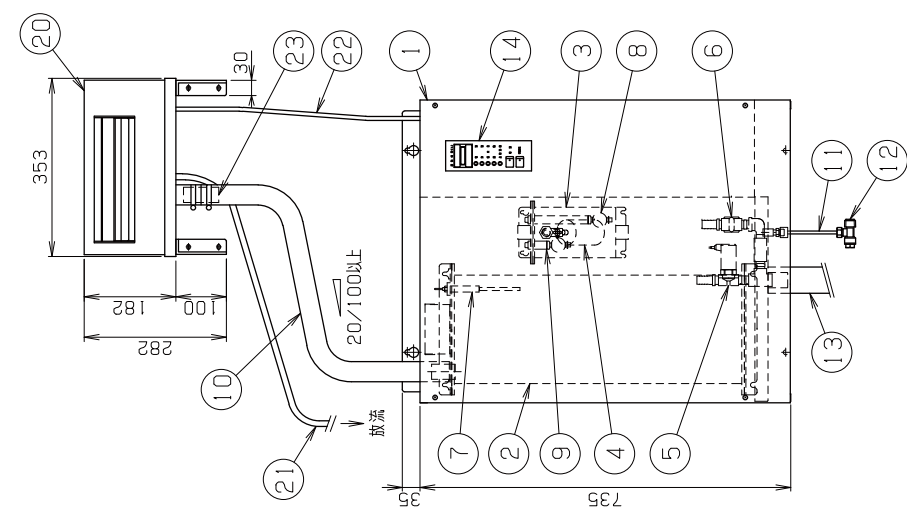
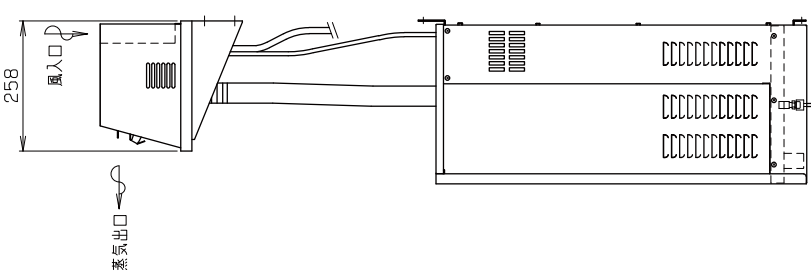
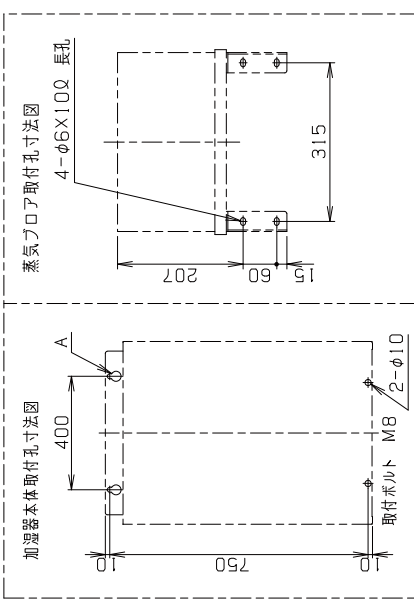
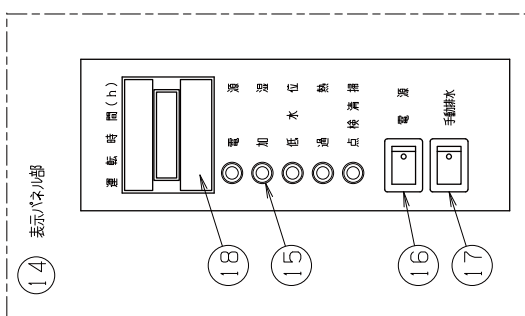
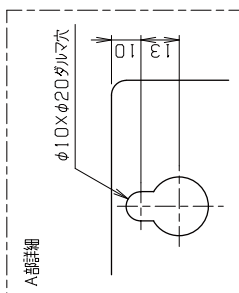


⑳	蒸気ホース用アダプタ	φ22Xφ30 SUS304
㉑	プロア電源コード	2.5m
㉒	凝縮水ホース	φ12Xφ8X3m
㉓	蒸気プロア	プロア取付ブラケット付
⑲	電源接続口	3-φ22 グロメット付
⑱	運転時間計	
⑱	手動排水スイッチ	
⑱	電源スイッチ	
⑱	表示灯	
⑱	表示パネル	
⑱	排水ホース	φ40Xφ30X0.5m
⑱	給水ストレーナ	T型 #100 R1/2
⑱	給水軟銅管	φ6.35X1m
⑱	蒸気ホース	φ31Xφ22X1.5m
⑱	高水位用フロートスイッチ	SUS304
⑱	低水位用フロートスイッチ	SUS304
⑱	高水位レベルセンサ	
⑱	高水位用電磁弁	AC200V
⑱	排水用電磁弁	AC200V
⑱	給水用ボールタップ	CAφ406(浮子玉:SUS304)
⑱	給水タンク	SUS304
⑱	加熱タンク	SUS316 断熱材付
⑱	加湿器本体ケーシング	鋼板塗装
⑱	番号	部品名称 仕様

図面名称 **ウェットマスター株式会社 SJA**  
**WM-SJA01~03CFB**  
**蒸気プロア付 加湿器本体 外形図**

業別 / **ウェットマスター株式会社**  
**WETMASTER CO., LTD**

図番 **M S U - 5 4 A 1 - 0 1**

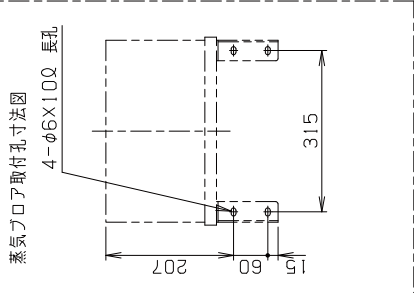
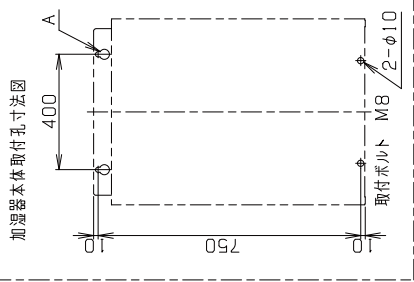
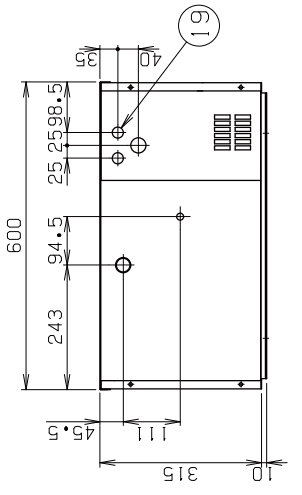
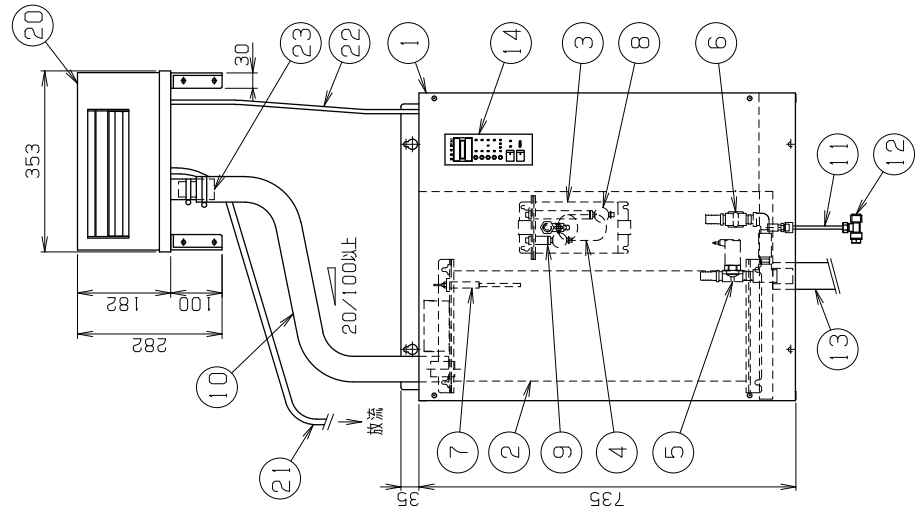
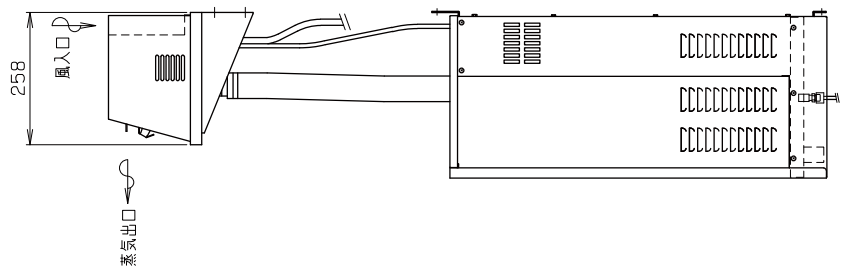


23	蒸気ホース用延長管	φ30 SUS304
22	プロア電源コード	2.5m
21	凝縮水ホース	φ12xφ8x3m
20	蒸気プロア	プロア取付ブラケット付
19	電源接続口	2-φ22, φ30 グロメット付
18	運転時間計	
17	手動排水スイッチ	
16	電源スイッチ	
15	表示灯	
14	表示パネル	
13	排水ホース	φ40xφ30x0.5m
12	給水ストレーナ	T型 #100 R1/2
11	給水軟鋼管	φ6.35x1m
10	蒸気ホース	φ40xφ30x1.5m
9	高水位用フロートスイッチ	SUS304
8	低水位用フロートスイッチ	SUS304
7	高水位レベルセンサ	
6	高水位用電磁弁	AC200V
5	排水用電磁弁	AC200V
4	給水用ボールタップ	CAC406 (浮子玉: SUS304)
3	給水タンク	SUS304
2	加熱タンク	SUS316 断熱材付
1	加濕器本体ケーシング	鋼板塗装
番号	部品名称	仕様

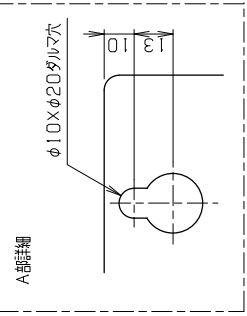
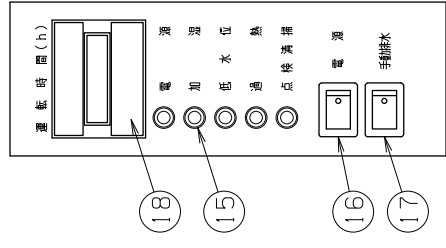
図面名称 **ウェットマスター株式会社 SJA**  
**WM-SJA05CFB**  
 蒸気プロア付 加濕器本体 外形図

業別 / **ウェットマスター株式会社**  
 WETMASTER CO., LTD

図番 **M S U - 5 4 A 1 - 0 2**



14 表示パネル部



23	蒸気ホース用アダプタ	φ40Xφ30 SUS304
22	プロア電源コード	2・5m
21	蒸給水ホース	φ12Xφ8X3m
20	蒸気プロア	プロア取付ブラケット付
19	電源接続口	2-φ22, φ30 グロメット付
18	運転時間計	
17	手動排水スイッチ	
16	電源スイッチ	
15	表示灯	
14	表示パネル	
13	排水ホース	φ40Xφ30X0.5m
12	給水ストレーナ	T型 #100 R1/2
11	給水軟銅管	φ6.35X1m
10	蒸気ホース	φ50Xφ40X1.5m
9	高水位用フロートスイッチ	SUS304
8	低水位用フロートスイッチ	SUS304
7	高水位レベルセンサ	
6	高水位用電磁弁	AC200V
5	排水用電磁弁	AC200V
4	給水用ボールタップ	CA406 (浮子玉:SUS304)
3	給水タンク	SUS304
2	加熱タンク	SUS316 断熱材付
1	加湿器本体ケーシング	鋼板塗装
	番号	仕様

図面名称 **ウェットマスター株式会社 SJA**

WM-SJA08~14CFB  
蒸気プロア付 加湿器本体 外形図

業別 / **ウェットマスター株式会社**  
WETMASTER CO., LTD

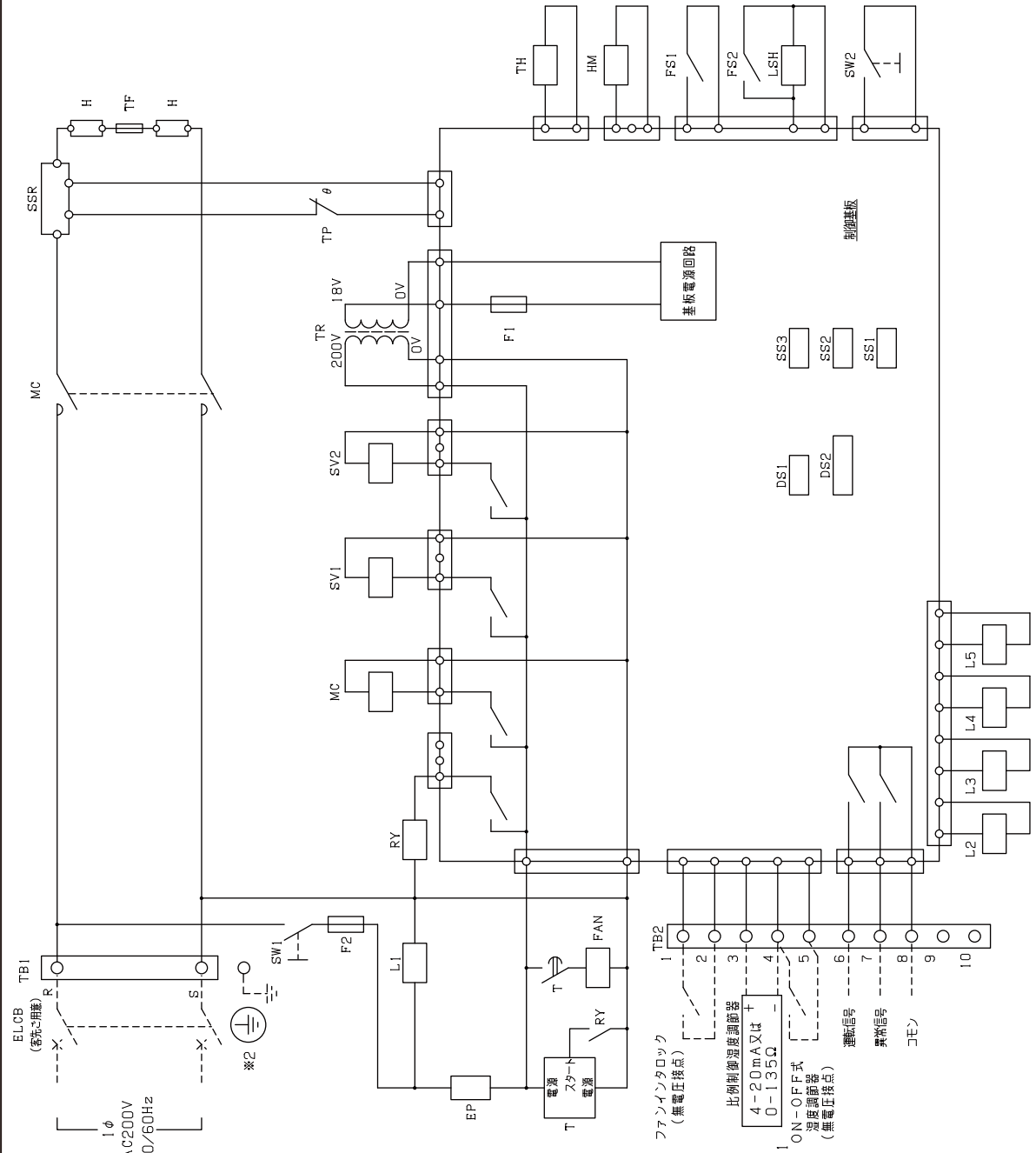
図番 **M S U - 5 4 A 1 - 0 3**

31	FAN	蒸気ブロー	AC200V
30	T	アフターランタイム	AC200V
29	RY	アフターラン補助リレー	AC200V
28	DS2	定時ブロー間隔スイッチ	ディップスイッチ (8極)
27	DS1	定時ブロースイッチ	ディップスイッチ (5極)
26	EP	空運転防止器	
25	SS3	予熱機能設定スイッチ	スライドスイッチ
24	SS1, 2	制御信号設定スイッチ	スライドスイッチ
23	TB1	信号端子台	
22	TB1	電源端子台	
21	TF	ヒータ温度ヒューズ	126℃
20	TH	過熱保護サーモ	125℃±5℃
19	HM	運転時間計	
18	LSH	高水位レベルセンサ	電極様式
17	FS2	高水位用フロートスイッチ	
16	FS1	低水位用フロートスイッチ	
15	F1, 2	ヒューズ	
14	TP	サーモプロテクタ	
13	SV2	高水位用電磁弁	AC200V
12	SV1	排水用電磁弁	AC200V
11	L5	点検清掃表示灯	緑色 (LED)
10	L4	過熱表示灯	黄色 (LED)
9	L3	低水位表示灯	黄色 (LED)
8	L2	加湿表示灯	赤色 (LED)
7	L1	電源表示灯	乳白色 (ネオン管)
6	SW2	手動排水スイッチ	
5	SW1	電源スイッチ	
4	TR	トランス	
3	H	ヒータ	AC200V
2	SSR	ソリッドステートリレー	
1	MC	電源リレー	コイルAC200V
番号	記号	部品名称	仕様

図面名称 **ウェットマスター株式会社 SJA**  
**WM-SJA01~03CFB**  
**蒸気ブロー付 電気回路図**

業別 / **ウェットマスター株式会社**  
**WETMASTER CO., LTD**

図番 **M S U - 5 4 B 2 - 0 1**



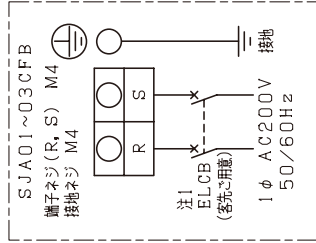
※1 比例制御調整器またはON-OFF式調整器いずれかの接続となります。  
 ご使用になる制御信号に合わせて、制御基板上のスライドスイッチ (SS1, 2) の  
 設定が必要となります。

※2 接地端子はD種接地工事にて接続してください。





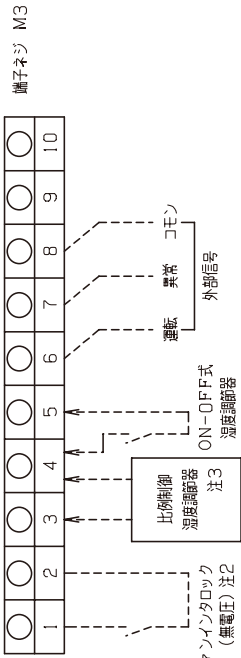
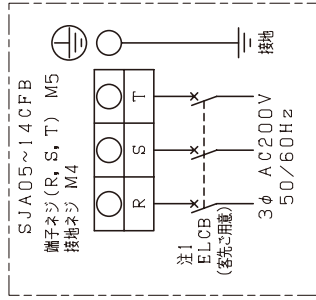
端子台接続要領



注1 ヒータ寿命時には漏電となる場合があります。他の機器の妨げとならないように、必ず加温器専用の漏電ブレーカ(ELCB)をご用意ください。

※1 加温器の電源は別電源とし、空調機ファンの2次側からの電源配線はしないでください。

※2 電源は単独で配線してください。



注2 空調機と連動させずに加温器単独でご使用の場合には、端子台1, 2を短絡してください。

※3 運転信号・異常信号・制御信号の各配線はそれぞれ単独で配線してください。

※4 ご使用になる制御信号に合わせて、制御基板上的スライドスイッチ (SS1, 2) の設定が必要になります。

※5 ON-OFF制御に使用するヒューズスタット (HS) は湿度低下で接点ONとなる形式のものをご用意ください。

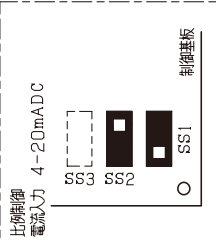
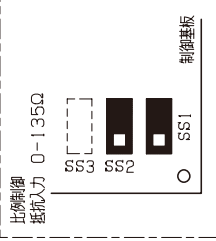
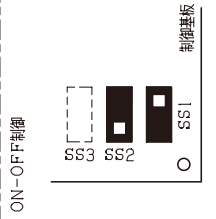
※6 比例制御湿度調節器またはON-OFF式湿度調節器いずれかの接続となります。

注3 信号入力は0-1.35Ω抵抗入力と4-20mADC電流入力の2種類です。

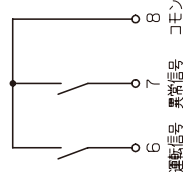
信号の端子への接続は下図のとおりです。



ご使用になる制御信号に合わせて、制御基板上的スライドスイッチ (SS1, 2) を下図の様に設定してください。



外部信号 (無電圧)



接続定格

抵抗負荷	AC220V 2A
	DC24V 2A
誘導負荷	AC220V 1A
	DC24V 1A

型番	通電ブレーカ		適合電線	
	通電容量	感度電流	電源用 (注4) 信号用 (注5)	
WM-SJA01CFB	20A	30mA	3.5mm <sup>2</sup>	2.0mm <sup>2</sup>
WM-SJA02CFB				
WM-SJA03CFB	40A	30mA	8mm <sup>2</sup>	2.0mm <sup>2</sup>
WM-SJA05CFB				
WM-SJA08CFB				
WM-SJA11CFB				
WM-SJA14CFB				

注4 1V電線電線管等配線の場合。

注5 ノイズの影響を避けるため、シールド線をご使用ください。

図面名称 **ウェットマスター株式会社 SJA**

WM-SJA01~14CFB  
蒸気ブローア付 端子台接続要領図

業別 / **ウェットマスター株式会社**  
WETMASTER CO., LTD

図番 **M S U - 5 4 B 0 - 0 3**



# ウェットマスター株式会社

本社営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 WM本社ビル TEL.03-3954-1101

●アフターサービスのお問い合わせは、保守管理グループ直通 TEL.03-3954-1110

大 阪 支 店 〒540-0024 大阪市中央区南新町 1-1-2 タイムスビル TEL.06-4790-6606

名古屋支店 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-4ハートヒルズ千種 TEL.052-745-3277

仙台営業所 〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央 5-17-12 TEL.022-772-8121

福岡営業所 〒812-0004 福岡市博多区榎田 2-1-10 TEL.092-471-0371

- 業務用・産業用各種加湿器
- 流量管理システム機器/エアロQシステム・カラムアイ



東京本社  
ISO14001:2004  
認証取得



東京本社  
ISO9001:2008  
認証取得

※大阪支店は2010年04月12日より上記住所に移転となりました。